

# 業継続へ実態訴える

## 静岡県砕石業協同組合



立岩康男理事長

静岡県砕石業協同組合(立岩康男理事長、17社)は5月24日、静岡市内で第24回通常総会を開催し、2023年度事業報告・決算および24年度事業計画・収支予算案等

を審議し原案通り承認した。役員改選で立岩理事長、山本雅也、三高一両副理事長は再任。理事の勝間田久嗣、後藤裕史両氏が退任し、それぞれ相談役に就き勝間田慶喜(二葉建設社長)、後藤真典(後藤社長)両氏が理事に新任した。

ある砕石の調達に苦勞しているようだ。砕石工場が少ないことが背景にあり、当県も予期される南海トラフ地震の発生に際し同様の状況が起こりかねない。インフラ整備や災害対応に貢献するためにも砕石業の継続に向け県との意見交換を重ね砕石工場の減少と資源の枯渇化の実態を繰り返し訴えてきた。国交省やNIE

XCO中日本とも意見交換を進めたい」とし、22年9月の豪雨災害で元組会員の採石場跡地から土砂が道路や鉄道に流出した被害に触れて「採石場の立入検査の実効性を高めるため、是正箇所を確実に指摘していくことが必要」と述べた。

24年度の主要事業は、県庁各課等との意見交換会や会議等を通じた情報収集や協議調整。隔年実施する「組合員のために行う道路用砕石の品質検査」として、品質管理試験結果書の発行ならびに各社が実施した自主検査試験結果書を点検整理し県に提出する。県道路舗装協会および県アスファルト合材協会との三団体技術協議会による新規採用職員向け現場見学会、岩石採取場の共同立入検査、岩石採取認可申請にかかる跡地整備等の債務保証などを行う。